

世界遺産登録 10周年記念事業 オープニング セレモニー

「平泉の文化遺産」のユネスコ世界遺産登録10周年を記念して、本年度予定する多彩な事業のオープニングセレモニーを、4月17日に平泉小学校体育館で開催しました。式には町内外の関係者や来賓、町民など150人が出席し、開会式で青木町長は「10周年を契

機に、平泉への理解と関心をさらに深めてもらい、今後の拡張登録に向け活動を進めたい」とあいさつしました。
式後には、開会を記念して、国重要無形民俗文化財の「毛越寺の延年」の上演と陸上自衛隊東北方面音楽隊の演奏会を上映しました。



①開会式で青木町長が式辞を述べました／②毛越寺の延年「若年、禰宜」の上演／③自衛隊東北方面音楽隊の演奏会を鑑賞しました

東稲山麓地域 世界農業遺産認定へ向け 取り組みを継続

当町と一関市、奥州市の関係団体から組織する東稲山麓地域世界農業遺産認定推進協議会が、国連食糧農業機関（FAO）による世界農業遺産と農林水産大臣が行う日本農業遺産認定に向けて活動を行ってきた「東稲山麓地域の北上川洪水害に適応した農地利用と営農システム」は、2月に行われた審査の結果、認定になりました。

この結果を受け、3月26日に推進協議会が臨時総会を開催しました。総会ではこれまでの世界農業遺産などの認定を目指した取り組みによって、地域で独自の活動が生まれるなど活性化につながっていることから、支援が必要と判断。世界農業遺産などの認定へ向けに継続して取り組むことを決定しました。

■令和2年度の世界農業遺産および日本農業遺産認定に向けた取り組み
▽令和2年5月19日
協議会定期総会で、申請書案が承認
▽7月29日
申請書を提出
▽9月18日
日本農業遺産の1次審査を通過
▽10月19日
世界農業遺産等専門家会議の委員による現地調査（月山神社、中山間地の石積み棚田など）
▽1月27日
ウェブ会議システムで2次審査を実施
▽3年2月19日
審査結果通知
▽3月26日
協議会臨時総会で、認定に向け活動を継続することを決議

発掘最前線 190 平泉を掘る

志羅山遺跡第118次調査

志羅山遺跡第118次調査で将棋の駒が出土しました（写真1）。

墨書の文字が薄くなっていますが「桂馬」と読めます。広報ひらいずみ1月号で紹介した大きな汚物廃棄穴から見つかったもので、使われなくなった木製品などと一緒に捨てられていました。当時の人々の娯楽の様子がわかる資料です。

平泉町内では中尊寺跡や志羅山遺跡でも将棋の駒が出土しており、中には大将棋で使われていた「飛龍」（写真2）も見つかっています。平安時代の大将棋では13種類の駒が使われていたようです（写真3）。



写真1 今回見つかった将棋の駒

「桂馬」と墨書されています。大きさは、長さ3・1釐、幅2・1釐あります。裏面には文字は確認できませんでした。平安時代の大将棋にも桂馬はあります。



写真2 「飛龍」と墨書された駒

志羅山遺跡第88次調査で見つかった大将棋で使われた駒で、国の重要文化財に指定されています。両面に「飛龍」と書かれています。

					注人														
歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩
兵	兵	兵	兵	兵	兵	兵	兵	兵	兵	兵	兵	兵	兵	兵	兵	兵	兵	兵	兵
奔	飛			猛	横	猛			横	猛			飛	車				奔	
車	龍			虎	行	虎			行	虎			龍	車				車	
香	桂	鉄	銅	銀	金	玉	金	銅	鉄	桂	香								
車	馬	将	将	将	将	将	将	将	将	馬	車								

写真3 平安時代の大将棋

現在の将棋では使われていない駒があります。また、将棋盤も現在の物よりもマス目が多いことがわかります。（写真は増川宏『ものと人間の文化史23-I』「将棋I」法政大学出版局より転載）

<レストラン>
5月の
イチオシ!



夏季限定メニュー 盛岡冷麺

毎年好評をいただいている盛岡冷麺の提供を今年も始めました。コクや旨みたっぷりのスープに、コシのある麺は通常より細麺で食べやすくなっています。暑い季節にぴったりのお勧めメニューです。
■販売価格…850円(税込み)

情報 道の駅平泉

問い合わせ先…道の駅平泉 ☎ 48-4795

【5月のイベント情報】

- ロイズチョコレート出張販売
期間限定で道の駅平泉に、人気のチョコレート専門店「ロイズ」の移動販売車がやってきます。
- ▽販売期間
5月1日(土)～5日(水)
- ▽販売時間
午前10時30分～午後4時30分
- ゴールデンウィーク中は、ぜひ道の駅平泉にお越しください。